

りんご生育情報(5月号)

令和6年5月16日発行

【発行】宮城県登米農業改良普及センター

電話 0220-22-6127

HP <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-n/>

普及センターのホームページでは、過去の技術情報も掲載しています。お手持ちのスマートフォンなどで右のQRコードを読み取るとホームページへ移動できますので、ご利用ください。



1. 本年の「ふじ」生育状況及び開花予想



4月の気温は、ほぼ全日で平年より気温が高く、その影響で開花始期は平年より8日早くなりました。開花始期後も、引き続き平年より気温が高く経過したことから、満開期は平年より7日、落花期は平年より6日早くなりました(表1、図1)。

表1 令和6年度の生育状況結果(調査地:東和町錦織)

| | 発芽期 | 展葉期 | 開花始期 | 満開期 | 落花期 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 本年 | 4月3日 | 4月10日 | 4月22日 | 4月28日 | 5月5日 |
| 前年 | 3月23日 | 3月31日 | 4月20日 | 4月27日 | 5月3日 |
| 平年 | 4月2日 | 4月11日 | 4月30日 | 5月5日 | 5月11日 |
| 前年差(日) | 11 | 10 | 2 | 1 | 2 |
| 平年差(日) | 1 | -1 | -8 | -7 | -6 |

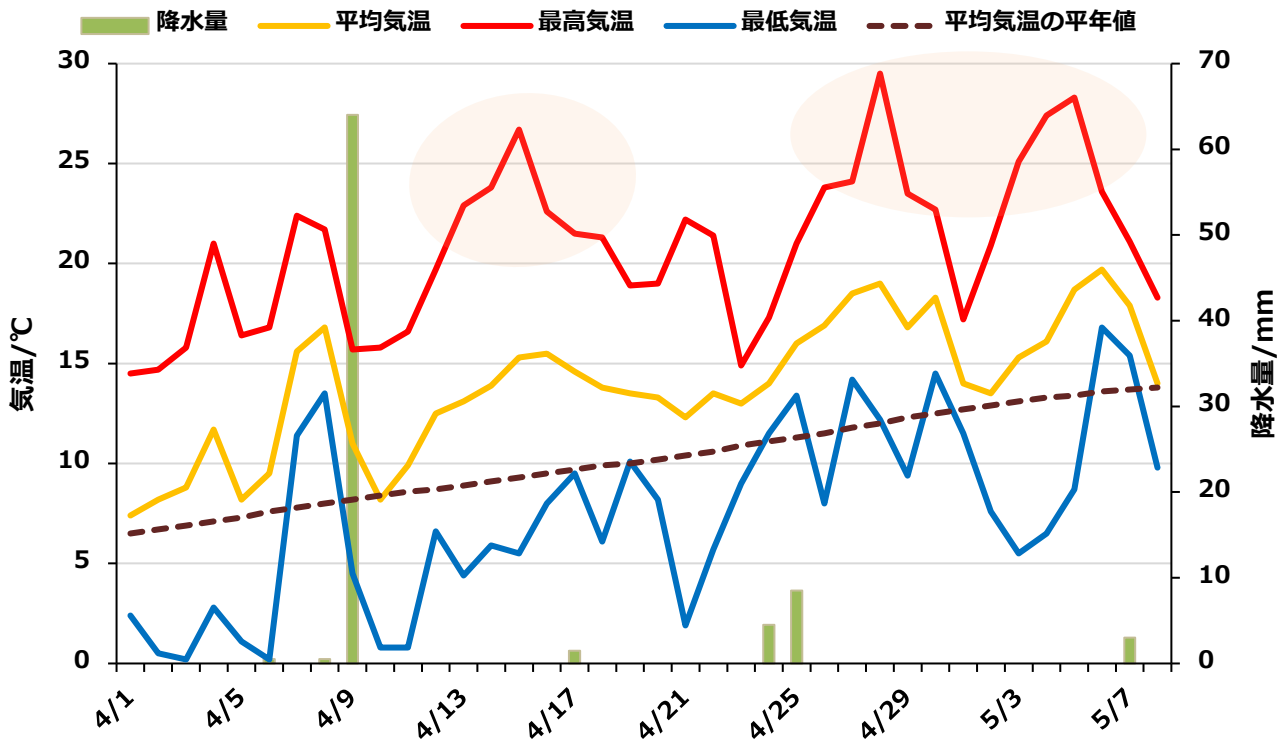


図1 4月1日~5月8日の気温・降水量の推移(アメダス地点:米山)





2. 今後の管理（摘果）について

発芽から開花までの生育には貯蔵養分が使われますので、結実が多ければその分貯蔵養分が多く消費されます。果実の細胞分裂は、開花4週間後頃には停止し、それ以降の果実肥大は主に細胞の肥大によりますので、早期に摘果することで大玉果が期待できます。

(1) 人手による摘果

中心果のガク立ちを確認したら、着果位置の悪いもの（腋芽果、枝の真上・真下など）から果そうごと摘果します。「ふじ」では、青み果などの不良果実になりやすいため果台が長い果そうも全摘果します。落花 10 日頃までには、良好な中心果を残し1果そう1果とします。霜害を受けた果実はサビ果や奇形果になりやすいので、霜害が疑われる場合は障害がはっきりしてから仕上げ摘果を行いましょう。中心果に被害が多い場合は側果を利用するなど、樹勢に応じた着果量の確保に努めてください。

主要品種の適正な着果程度は表2のとおりです。ただし、樹勢など生育状況に応じて加減してください。特に、「ふじ」の場合は過着果すると隔年結果を起こしやすいので、成らせすぎないように注意してください。

仕上げ摘果の完了時期の目安は以下のとおりです。

- ・結実が良好な品種：**落花 25 日後まで** ※「ふじ」「つがる」「王林」など
- ・生理落果の多い品種：**落花 30～35 日後まで** ※「紅玉」「ジョナゴールド」など

表2 標準的な着果程度

| 品種 | 摘果の強さ |
|--------------------------------|-------------|
| 紅玉 | 3 頂芽に 1 果 |
| つがる、 ジョナゴールド | 3.5 頂芽に 1 果 |
| ふじ、王林、シナノゴールド、シナノスイート、ぐんま名月 など | 4 頂芽に 1 果 |

(2) 薬剤による摘果

薬剤はミクロテナポン水和剤 85（倍率：1,200 倍、使用時期：満開後 1～4 週間、展着剤を加用すると効果的）を使用します。この薬剤は、発育の遅れた生育の悪い果実に作用しますので、頂芽中心果と側果の発育に差があるほど高い効果が得られます。

散布時期は「ふじ」が満開2週間後頃、他の品種は満開3週間後頃が基本となります。果径で判断する際は、「ふじ」で頂芽の中心果の横径 10mm 程度が目安となります。この薬剤は散布後気温が高く推移すると効果が高まります。摘果剤散布による落果は散布 1 週目頃から始まり、その後 10 日程度続きます。「ふじ」は果柄が黄変しても落果しにくいですが、手で触れると容易に落果するので、この頃から手摘みによる仕上げ摘果に入ります。

「つがる」、「ジョナゴールド」、「世界一」など年によりジューンドロップが多い品種や「ぐんま名月」は、本剤がかかると落ちすぎることもあるので注意してください。

参考：「りんご生産指導要項 2018-2019」（公益財団法人青森県りんご協会）
「みやぎの果樹指導指針」平成 5 年 3 月（農林水産省）

+

※掲載されている農薬は令和6年5月1日現在の登録状況を確認しています。
使用する際は、事前に最新情報で農薬登録を確認の上、使用してください。

